



# 令和2年分確定申告

・所得税の確定申告について 西大寺税務署 ☎086-942-3815  
・市県民税の申告について 税務課 ☎0869-22-1114

青色申告、消費税申告、過  
年分の申告、住宅借入金等特  
別控除、株式、土地などの譲  
渡所得、本人死亡の場合の申  
告相談は、市が開設する申告  
相談ではお受けできません。  
税務署が開設する申告相談を  
利用してください。  
※市が開設する会場の開催日  
程は、広報せとうち2月号  
に掲載します。  
※e-Taxは市の申告会場  
には設置していません。

**申告が必要な人は  
早めに準備をしましょう**  
所得税と市県民税の申告相  
談が、令和3年2月16日(火)  
から3月15日(月)まで行わ  
れます。申告が必要な人は、  
早めに書類などの準備をし  
ましょう。  
申告相談会場の開設は、申  
告相談の期間中のみとなりま  
すが、所得税の還付に関する  
申告書は1月から税務署に郵  
送などで提出できます。

**税務署の確定申告相談**  
▷相談日時 令和3年2月16日(火)～3月15日(月)  
午前9時～午後5時(受付は午前8時30分から午後4時まで)  
※混雑状況によって、午後4時前に受付を終了する場合があります。  
▷会場 西大寺税務署(岡山市東区西大寺中2-24-13)  
※来場の際は、公共交通機関をご利用ください。  
※土・日・祝日は申告相談を行いませんが、2月21日(日)およ  
び2月28日(日)に限り、ママカリフォーラム(岡山市北区駅  
元町14-1)で申告相談を行います。

**社会保険料控除の  
対象金額を確認しましょう**  
令和2年1月1日から令和  
2年12月31日までに支払った  
国民健康保険税、介護保険料、  
後期高齢者医療保険料、国民  
年金保険料は、所得税や市県  
民税の社会保険料控除の対象  
となります。

今年は自宅から提出!  
**スマホ専用画面で  
確定申告書を送信!**

スマホ専用画面で申告できる人  
【収入】  
・給与所得者(2カ所以上の給与所得が  
ある人にも対応しています)  
・年金収入、副業などの雑所得がある人

マイナンバーカード対応  
のスマートフォンを使え  
ば、e-Taxで送信できます。  
詳しくは、国税庁ホーム  
ページでご確認ください。

国税庁ホームページ

ただし、年金から直接差し  
引かれた場合は、直接差し引  
かれた年金受給者本人の控除  
となり、口座振替や納付書で  
支払った場合は、実際に支  
払いをした人の控除となりま  
す。領収書や通知、通帳で確  
認し、申告書に記入してくだ  
さい。  
また、市に納付した保険税、  
保険料については、申告書に  
領収書を添付する必要はあり  
ませんが、1年間の支払額を  
知りたい人は、本人確認ので  
きるもの(運転免許証など)  
を持参の上、税務課へお問い  
合わせください。

確定申告書の提出は、新型  
コロナウイルス感染症対策の  
一環として、自宅から申告で  
きるe-Taxによる電子申  
告(パソコン・スマホ)また  
は、郵送による提出をご利用  
ください。

感染リスク軽減のための  
税務署からのお願

国税庁ホームページ  
(<https://www.nta.go.jp/>)の  
「確定申告書作成コーナー」  
から作成できます。

確定申告書  
作成コーナー

## 年頭挨拶 市民の皆様の幸せを願って

新年あけましておめでとうございます。  
新型コロナウイルス感染症については、全国的に感  
染が拡大し、瀬戸内市においても複数の感染者が発生  
する中、市民の皆様には「身体的距離の確保」「マス  
クの着用」「手洗い」など感染拡大防止のための「新  
しい生活様式の実践」に引き続きご協力をお願いします。  
さて、昨年国においては菅内閣が発足し、不妊治療  
の保険適用や待機児童問題の解消などの少子化対策、  
また2050年までに温室効果ガス排出をゼロにする  
ことなどの脱炭素化社会の実現を目指す意向が示され  
ました。



瀬戸内市長  
武久 顕也

瀬戸内市においても、人口減少問題や若い世代の定  
住促進への取り組みとして、民間による新たな保育施  
設の誘致や小児医療費の無償化の対象年齢の拡大、「こ  
どもひろば」の整備などの子育て支援策に力を入れて  
まいります。

また、瀬戸内市では、すでに錦海塩田跡地で国内最大級の太陽光発電所が稼働しておりま  
すが、脱炭素化社会の実現に向けて、瀬戸内市、岡山市をはじめ県内13市町で構成する岡  
山連携中枢都市圏において、共同で2050年における温室効果ガスの実質排出ゼロを宣言  
する予定としており、他の市町と連携した温室効果ガス削減の取り組みを進めていくことと  
しております。

さらには、働く意欲のある高齢者が培った能力や経験を生かし、生涯現役で活躍し続け  
られる地域の仕組みづくりを昨年開設した「ゆめワークせとうち」を中心として進めていき  
ます。

これからも、新型コロナウイルス感染症などの喫緊の課題に対応しながら、子育て世代や  
高齢者の皆様、地域のコミュニティがより元気になるための仕組みづくりに力を入れ、市  
民の皆様にあえていただける瀬戸内市となるようまちづくりを進めてまいりますので、お力  
添えいただきますようお願い申し上げます、年頭のご挨拶といたします。



錦海塩田跡地のメガソーラー